

公報

○太内官布告第三十九號
明治十四年十二月第六十七號布告刑罰法附則第四章第四十九條左ノ通改定ス
第四十九條 日當旅費及ヒ止宿料ハ左ノ制限ニ據リ各地方適宜其額ヲ定ム可シ
日當五十錢以下
旅費一里十錢以下
止宿料一宿二十錢以下
住居三里以外ノ地ニ在ル者ハ往復旅費ヲ給シ及ヒ呼出ノ地ニ滞在ハ日當并ニ止宿料ヲ給ス其三里未滿ノ地ニ在ル者ハ旅費止宿料ヲ給セス
右奉 勅旨布告候事
明治十六年十一月十二日
太政大臣三條實美
司法卿 大木喬任

叙任

○明治十六年十一月十日
叙任五位 一條實輝

時事新報

地理上ノ離隔ハ特ニ足ラズ
西曆一千八百年前ヨリ蒸氣力カ其働ヲ逞ウシテ世界ノ局面漸ク縮マリ荷蒸氣力ナ利用スルモノハ自由自在ニ此局面ヲ横行シテ萬里ノ波濤モ阻礙ノ如ク千里ノ山河モ平野ノ如クハ開復タ行路ノ難ナキニ至リタレバ地理上ノ離隔ハ最モ特ニ足ラザルナリ今試ニ蒸氣發明ノ以前ニ遊リテ地球ノ全局ヲ觀察スレバ東西ノ離隔參ト商トノ如ク天涯地角、風馬牛モ相及バズ所謂望洋ノ嘆ナキヲ得ズ、カレバ當時ニ在テハ西洋諸國ニテモ航海ノ區域極メテ狭ク千四百年代迄ハ地中海ヲ縱橫スルコト止マリ大西洋ノ遠航ヲ試ムル者サヘナカリシニ同九十四年コロンブス氏ガ古今絶倫ノ勇氣ヲ振フテ西大陸ヲ檢出シテヨリ葡萄牙、伊太利等ノ航海者モ漸ク冒險ノ勇ヲ鼓シテ陸續海外ノ遠征ヲ試ミ爾後二年葡萄牙人ハ喜望峯ヲ廻テ東印度ニ至リ英佛等ノ各國モ亦爭フテ航海ヲ事トシ西陸ニ東印度ニ相繼テ遠征ヲ發スルコトハナレリ千五百十六年コロンブス人餘勢ニ乘シテ支那海ニ現ハレ同四十二年コロンブスモ渡來シテ漸ク通商ノ端ヲ開キタレハ一葉ノ商船ニ駕シテ地球ノ西端ヲ登リ風ニ任セテ飄然東洋ニ來航スルコトナレバ其航海ハ月ヲ累テ年ヲ涉リ地理ノ離隔ニ阻セラレテ交通ノ緩慢ナリシヲ亦想ヒ見ル可キナリ然ルニ千八百年初ヨリ蒸氣力ヲ逞ウシテ世界ノ形勢俄ニ變ニ從來歐洲ト印度トノ通航ハ四五ヶ月、乃至半年ヲ費シタルモノガ今ハ其日數十分ノ一ニ短縮シ隨テ我カ日本國モ其地位遙ニ東邊ニ僻在スルヲ以テ會テ公然タル外國交際モナカリシニ蒸氣ノ餘勢ハ漸ク延テコノ東邊ニマデ達シテ三十年前ヨリ米人ヲ始メトシ其他ノ西洋各國人ニ促カサレテ今日ノ開國ト爲リ朝鮮ノ如キハ曩キコ外人ニ開國ヲ促

カサレタル其日本人ノ爲ニ重テ促ガサレテ東西ノ諸外國ト交通スルニ至レリ是ニ由テ察スルニ蒸氣力ノ向フ所ハ前ニ勁敵ナシ其力ノ影響ハ至地球ニ布及シテ今方ニ進歩最中、今後電氣等ト結合シテ益其働ヲ逞ウスレバ何ノ至ラザル所アラソ到底其勢力ノ及フ所ハ八智ヲ以テ測ルベカラザルナリ
然リト雖モ凡ソ人生ニ除キ難キモノハ舊時ノ記憶ニシテ去リ難キモノハ目下ノ情感ナリ前節ニ云ヘル如ク蒸氣電氣等有形ノ文明外部ノ進步ハ斯ク迅速活潑ナレバ吾人内部ノ感覺ハ之ニ伴フテ其銳敏ヲ増ス可ク能ハズ世界地理上ノ離隔ハ昔時ノ十分一ニモ減シテ目下益之ヲ縮小スルノ有様アリト雖モ吾人ノ腦中ニハ舊時ノ印象ヲ存シ世界縮小ノ割合ニ應ジテ東西接近ノ實狀ヲ腦鏡ニ映スルコト能ハズ地理上ノ離隔ヲ特ニ念ハ常ニ腦裏ニ影從フ之ヲ掃除スル能ハザルナリ今讀者ノ了解ヲ便スル爲メ淺近ノ事ヲ以テ之ヲ例シテ拙宅ハ東京城南ニアリテ淺草ハハ二里、橫濱ヲ去ルコト七里ナリ淺草ハ火事アレバ日時間ニ其烟燭ヲ認ム可シ淺草宿夜ノ警鐘ハ時ニ吾人ノ寢耳ニ達スルコトアリ之コ反シテ橫濱ノ火事ハ固ヨリ之ヲ見ル可クズ入港軍艦ノ砲聲ヲ尙之ヲ聞クコト得ザレバ吾人淺草橫濱ノ遠近ニ想及スル毎ニ先ツ橫濱遠シトノ感觸ヲ生スレバ今日ノ實際ニ就テ之ヲ見レバ京濱間ハ毎時電車ノ上下スルアリテ其間ヲ往復スルハ僅ニ二時間ヲ出ズ之ヲ人力車ニテ淺草ニ往返スルニ比スレバ時ヲ減スルコト三四十分下ラズ況ヤ暮雨夕瀟車明窓ノ中ニ安坐シ時ヲ刻シテ橫濱ニ達スルト塵垢汚泥凹屈曲ノ東京街路車上ニ露坐シ一上一下淺草ニ往クト其難易速固ヨリ言テ俟タズ實際ノ事情ハ斯クノ如クナルコ尙橫濱遠シトノ感觸ヲ起スハ畢竟吾人ノ腦中ニ地理上ノ離隔ノ舊印象ヲ存シ兼テ又今ノ耳目ノ開見ニ妨ケラレテ心ノ迷惑ヲ一掃スル能ハザルコト坐スルノ余ハ幼時支那人ガ長安近キ歎、日近キ歎トノ疑問ニ應ジテ長安近シ、人ノ長安ヨリ來ルヲ聞ケル日邊ヨリ來ルヲ聞カズト答ヘ他日復タ同一ノ疑問ニ對シテ日近シ、頭ヲ擧クテ見レバ長安ヲ見ズト答ヘタリトノ奇談ヲ聞キ意心筋ニ答ヘ取捨ニ苦ミタルコトアリ今橫濱ヨリハ一時間ニシテ歸着シ淺草ヨリハ殆ド一時二十分ヲ要スレバ實際ハ橫濱近シト雖モ卒然ニ淺草近キ歎、橫濱近キ歎トノ質問ニ逢ハハ淺草ノ警鐘ハ之ヲ聞ケル横濱ノ砲聲ヲ聞クコト得ストテ先ツ淺草近シト答ヘ他日自ラ其粗忽ヲ笑フコトナキニ非サル可シ蓋シ吾人ノ感覺ハ耳目見聞ノ外ニ在テハ案外ニ遲鈍ナルモノニシテ長安ヲ見ザレバ淺草ニシテ遠隔ナリト思ヒ砲聲ヲ聞カザレバ徒ニ橫濱ヲ遠シトスレバ蒸氣ノ勢力其働ヲ逞ウスレバ見ズ聞カズノ間ト雖モ亦瞬時ニシテ往返スルコト得可シ地理

電報

○十一月十日龍動發 佛國海軍兼殖民事務卿は東京遠征軍費として九百萬法の國債を増募せんとを要請したり○セルグヰヤの急進党はベルグレイド府の暴亂を煽動せり○同所叛徒の勢は益熾をふんとせり○セルグヰヤの兵隊ハカラフハットある叛徒の本據を乗取れり○十一月十二日神戶發 坂垣退助氏と昨日若明日出帆の東京丸にて上京の筈なる由神戶港の通信員より昨日午後二時五十五分發の電報あり

雜報

○行幸 聖上には來る十六日午前九時御出門元老院へ行幸、萬幸の節龍池會第四回觀古美術會へ御立寄列品天覽遊とさる、旨去る十日御出されたり○行啓 皇太后宮并皇后宮に來る十五日午後一時青山御所御出門龍池會第四回觀古美術會及 明宮御住所へ行啓遊とさる、旨去る十日御出されたり○伊藤參議 同參議は麹町區永田町二丁目にある太政官御用屋敷へ近々移轉する由○西郷農商務卿 同卿は一昨日歸京せし旨記載せしが右ハ全く誤聞にて同卿は昨朝橫濱へ若せし旨電報にて本省へ通知ありしのは武井大書記官宮崎權大書記官大槻准泰任御用掛出迎ひ午前十一時新橋着の急車にて自邸へ着したり○芳川内務少輔 同少輔は昨日午前九時新橋着の急車にて歸京せり○花房公使 花房特命全權公使は去る九月六日瑞典那威皇帝お謁見して國書を捧呈したる由○石井監獄局長 三池監獄を巡視したる石井監獄局長は

御用濟 ○華族 長の代 解りれ ○縣令 車あて ○シド 下チー 書記官 京せり ○岡宮 煩檢査 命せらる ○ゴー 其名多 に慮し 亦其有 財之 今日 の事 自ら 幾多の 穴の らん へて日 一の産 しく備 ぶ朝葉 生來農 里の學 耕に勤 ひ居り との間 唯夜間 不爾後 遂に測 小橋口 亦不 不平哀 此一 ざりけ 々も致 小顔と